

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                  |
|-------|------------------|
| 施設番号  | 66-0927          |
| 施設名   | 鵜の木いまいずみ保育園      |
| 施設所在地 | 東京都大田区南久が原2-30-5 |
| 法人名   | 社会福祉法人いまいずみ      |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
今まで園自体で光にテーマをおいた保育を行った事がなかった事と光を題材にした保育に関して保育者が興味を持った為、園でも取り組んでみようと思った。

## 2. 活動スケジュール

水族館ごっこの準備(1月)にあたり、光の活動も紐づけてどのように行っていけるかを考えた。  
子供達の水族館ごっこの話し合いの中で水族館特有の光の色や雰囲気がある事が意見として挙げられた為、水族館ごっこの中で水族館の雰囲気作りに利用する事とした。  
子供たちの反応やアイデアを聞き入れながら一緒に考えていった。  
懐中電灯やライトテーブルの位置を決める。  
子供達の反応を見ながら玩具を増やしたり図鑑などを増やしていった。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

はじめに扱いやすそうですぐに準備が出来そうな懐中電灯を用意し、手に取って遊べる環境を用意する。  
またカラーポリ、カラーセロファン、ライトテーブルなど光を当てると面白そうなものを準備した。  
環境の面では、廊下の蛍光灯にカラーセロファンを貼り光の変化を発見出来るようにし、ライトテーブル用の暗い部屋を準備していった。

\*記録用にビデオカメラも購入する。

## 4. 探究活動の実践

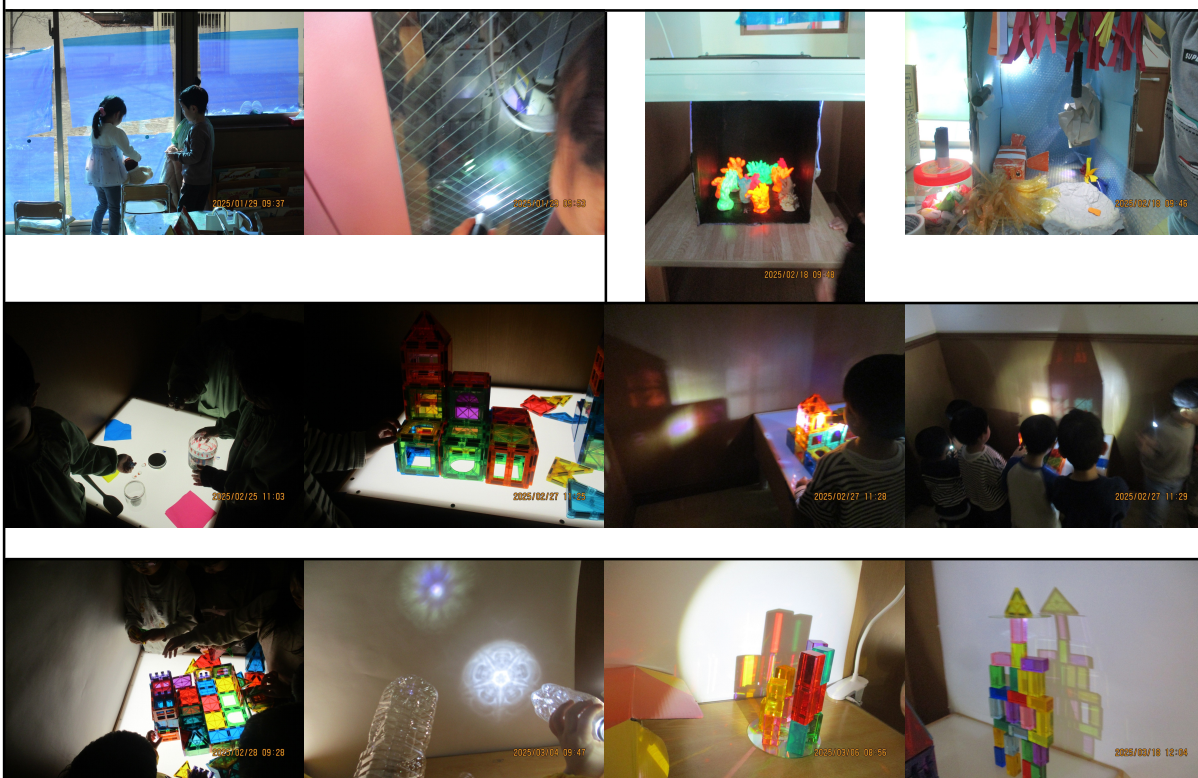
### <活動の内容>

- ・窓に青いカラーポリを貼り、色あいを楽しみ、魚を貼るなどして水族館の雰囲気を出す。
- ・光に興味を持った子に懐中電灯を渡し、様々な物に光を当てて楽しむ。
- ・真っ黒に塗った段ボールの中に製作した魚を釣るし、光を当て水槽のイメージを作っていく。
- ・蛍光塗料が付いたサンゴを作り、ブラックライトで照らしてみる。
- ・水族館ごっこ後、ライトテーブルや透過性のある玩具が届き、光に興味がある子は継続して遊ぶ。
- ・透過性のある玩具を重ねて色の変化を楽しんだり、美しさに気付く事を楽しむ。また影にも物を通して様々な色合いや形がある事に気付き、色々な物を懐中電灯に照らし試す。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・水族館ごっこの導入部分で窓にカラーポリを貼った際には、『影に色がついてる』と言って自分の手を当てて色が写る様子を味わっていた。『他にも色貼ってみようか』と誘い掛けると、赤や黄色、緑のセロファンを貼って楽しんでた。
- ・懐中電灯を子ども達に渡した際には、天上や床を照らして遊んでしばらくしてからエレベーターの中（暗い所）を照らしはじめ、『なんか見えるよ』『ゴミかなー』『機械かなー』と友達とやりとりしていた。
- ・ライトテーブルでは、設置された際に子ども達からどうやって遊ぶの？という声が多かった。透過性のあるマグネットの玩具や積み木を置くと子ども達なりに遊び方を見つけて友達や保育者に知らせて遊んでいた。そこから懐中電灯で組み立てた玩具を照らして『ビルみたい』など町並みに見立てることや積み木にライトを当て『色が変わって綺麗だよー』と透けた色を楽しんでいたのも、保育者がCDを用意し『これも使っていいよ』と投げかけると、CDの上に積み木を乗せ光を反射させて『キラキラしてる』と美しさを感じる姿が見られた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

今までは保育者が用意した活動で子ども達が遊んでいたので子ども達の遊びの展開や子ども達の声が見えづらかった。今回の活動を通して子ども達の声をよくい上げながら、活動に反映していくことで子どもの姿を予想する楽しさ、準備する事を保育者も楽しめるようになったように感じている。現在も継続して遊び込んでいるので、今後も働きかけながら発展していけるようにしていきたい。また園内で遊びのテーマを用いて園内での話をしていきたい。